

ニホンザルの分布変遷について —主に、奈良時代以降に焦点をあてて—

三戸幸久
日本モンキーセンター

はじめに

ニホンザルの分布の変遷に関して、奈良時代以降の生息情報をもとに、ニホンザルの分布変遷のアウトラインを調査した(表1)。

奈良時代のニホンザルに関する情報の主なものは、和銅6年(713)に朝廷より発令された風土記編纂のうち出雲国風土記、常陸国風土記にある。出雲の国からの報告では、どの山、どの野にもサルがいたと記されている。「野」の解釈が微妙であるが、人が定住占拠していない草地や野原までふくめてよいであろう。これを前提にすれば、現在の島根県東半分に当たる出雲地域には当時、ほぼ全域にニホンザルが生息していたと考えてよいであろう。そしてこれを全国に敷衍すれば、当時、ニホンザルは本州、四国、九州のどの山、野にニホンザルが分布していたと考えてよいのではなかろうか。

允恭天皇の14年(4世紀)天皇が淡路島に猟に出かけ、シカ、サル、イノシシを狩っている。農作物の被害は発生していたが、それは主に夜行性のイノシシとシカによるものであり、昼行性のサルは、騒がしいことが多こともあり、見つかりやすく、農作物は比較的守りやすかったのではなかろうか。サルたちは、追われれば逃げ、狩られれば食われて、しだいにヒトの生活圏より排除されつつあったと思われる。

平安～鎌倉～室町時代

平安時代～室町時代における地域を特定できる生息情報は見あたっていない。ただ、延暦21年(802)7月にオオカミが京・朱雀道を走ったという記録や斉衡2年(855)閏4月には東宮にオオカミが現れたり、また、今昔物語ではニホンザルの群れとおぼしき集団が邸宅内を徘徊する場面も見られる。大和地方など大都市でも、まだまだ、野生動物の都市空間への入り込みが見られていたことをうかがわせ、現代における都市でもときどき一単位単位のニホンザルが姿を現すが、これに似た様相もよく見られたのではなかろうか。その背景には、大和地方など都市周辺の森が遷都や社寺の建設などで消費され、野生動物のすみかが急速に失われるという事態が起こっていたものと思われる。都市周辺にとりのこされた野生動物が、市街地に迷い込んだり、農作物や人の食べ残しなどをあさりながら周辺に居着くこともあったと思われる。

一方、「猿牽き」や「厩ザル」(梁塵秘抄)などの記録から、ニホンザルの個体が生け捕られ、身近に飼われることによって、野生とは異なった特徴が人々の中で広まり、イメージ化されていったと思われる。例えば、藤袋草子(猿婿話の原型)では、ニホンザルは群れ生活者として理解されているが、鳥獣戯画やさるかに合戦、桃太郎話などはじょじょに一単体の活躍へと象徴化され、戯化されていったものと思われる。人の都市型生活の発展もすすみ、野生ニホンザルと

の接触は少なくなり、ニホンザルの群れ生活者としての姿は、人の文化的意識の中では、急速になくなっていったものと思われる。

江戸時代

江戸時代においては、享保元文の諸国産物帳の編纂、各地農業殖産の振興にともなう諸産物農業の記録（農書類）や新風土記が残され、ここでのニホンザルの記録が残っている。また、菅江真澄（1984）などの旅行家により記録も残るようになり、そこでのニホンザルの生息情報も少なくない。

愛知・尾張藩を例に産物帳の記録を見ると、生息は春日井郡と丹羽郡に限定されてきている。この地域は尾張地域では東部の丘陵地帯で、知多半島での生息はこのころにはすでに無くなっており、この丘陵地に限定されていたと考えられる。

江戸期後半にはいると、燃料、建設資材、焼き物、製塩、製鉄などあらゆる生活・産業の分野で森林木材の消費が進み、都市周辺では荒廃地やはげ山が出現していたと考えられる。洪水があいつぎ、多くの藩では伐採制限や植林、森林保護などが打ち出されている。こうしたこととあいまって、森林動物であるニホンザルの生息域は狭められ、それに伴う猿害など軋轢の結果、駆除圧も高まっていた。特に、飢饉が頻発していた東北地方では、食料としてまた薬種として多く狩られていたと思われる。

明治から昭和へ

明治に入って狩猟が一気に拡大した。その背景には、藩政時代のさまざまな規制が取り除かれたことがある。その一つは、狩猟の自由化である。16歳になればだれでも、山間部であればいつでもどこでも自由に狩猟することが許されるようになった。その上に旧藩主の猟場の解放。そしてもう一つは、それまでの火縄銃の解禁に重ねて、洋式鉄砲の輸入拡大、村田銃の発明など近代銃の民間への急速な普及があった。

「明治中期に村田銃が村に入ってから禽獣が急激に減ってしまった」「農民にして狩猟を営まないものはなかった。」と、岩手県川井村郷土誌にある。これは、冷害のため農作物の不作が続く飢饉が頻発した、狩猟依存の強い東北地方の傾向とも考えられる。しかし、全国的に見ても、中部地方や九州でも狩猟は盛んであった記録があり、明治以降、オオカミ、カワウソ、トキなど多くの野生動物が絶滅ないしは絶滅に近い状態に立ち至ったことはそれを物語っている。

本格的な「サル」は大正時代でほとんど終わりをつげる。狩猟は、ゲームの色彩が濃くなり、それは最後に残された数少ないケモノたちのとり尽くしが、各地域で発生した。

一方、明治～大正に作成された5万分の1地形図を見ると荒廃地・禿げ山が多く出現しているところから、生息地の森も貧弱化し、急速に劣悪化していった。

このような状況下で、大正12年（1923）にニホンザルの全国的実態把握へむけて、長谷部言人によるアンケート調査が行われている。日本のサルは何類か、分布はどこかがこれによって初めて明らかにされた。その後、昭和28年（1953）には、林野庁岸田久吉が、昭和35年（1960）には日本モンキーセンターの竹下完が全国ニホンザルアンケート調査を実施している。

それらを概観すれば、ニホンザルは、明治期より大正期、昭和初期に向けて、分布を急速に縮小させ、昭和20年代後半がもっとも分布域を縮小させた時期となった。この背景には、明治年間よりひき継がれた大きな狩猟圧が第二次大戦直後まで続いたことがその大きな要因と推定される。

その後、高度成長期にはいり、狩猟はほとんど終息するのだが、反対に、生息地の森林の大

面積皆伐がはじまり、全国の深山の森林もほとんど伐採される事態にもなった。その後、自然保護や環境保全の声が高まる中で林業の施行方針も転換していく。しかし、植林されたスギ、ヒノキの広大な人工林は多くの野生動物たちのすみかを奪い、いびつなものにしているという状況はほとんど変わっていない。

現在、各地で分布地域が拡大しているという報告が相次いでいるが、狩猟圧の減少、山間農地の高齢化、過疎化による離農の深更によって、農地の放棄、二次林の回復などによってニホンザルの個体数の増加、群れの増加が進んでいる。一方、ゴルフ場の乱開発、人工林の放置などによる生息地の攪乱もはじまり、タイワンザル、アカゲザルの集団の放棄による雑種化も発生し、形を変えた種の消滅の危機も高まっている。

ニホンザルを取り巻く事態はいつそう複雑化の様相を示しており、将来は、けっして楽観できない状況にある。

本研究は、科学研究費補助金（基盤研究(B)(1)、課題番号11440249、研究代表者：茂原信生）の援助を受けて行った。

参考文献

- 愛知県土木砂防課（1992）第2章砂防のあゆみ。愛知県森林協会，愛知の治山：11-22.
愛知県（1980）第六章第1節山地の荒廃と治山。愛知県，愛知の林業史：984-991.
秋本吉郎校注（1958）風土記。岩波書店，日本古典文学大系2，
古川古松軒（1964）東遊雑記。大藤時彦編，平凡社，東洋文庫27，Pp.209.
比良野貞彦（1977）奥民図彙。農山漁村文化協会，日本農書全集。巻：196-239.
岩野泰三（1981）ニホンザルの分布と環境要因。(財)日本野生生物研究センター。第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書（哺乳類）：12-37.
川村俊蔵（1976）日本のけものたち—ニホンザル。築地書館，追われる[けもの]たち：2-21.
岸田久吉（1953）代表的林棲哺乳動物ホンザル調査報告。農林省林野庁。鳥獣調査報告，第14号：1-92.
松山義雄（1979）続 狩りの語部。法政大学出版局：54-56.
三戸幸久（1989）農民の場合・猿害とその対応。日本モンキーセンター，モンキーNo.227・228：34-39.
三戸幸久判読本（1989）大正十二年（一九二三年）東北帝国大学医学部による全国ニホンザル生息状況のアンケート調査に対する各郡，支庁，島の回答資料（東・西日本編）。
三戸幸久（1992）東北地方北部のニホンザルの分布はなぜ少ないか。生物科学44(3)：141-158.
宮本常一（1990）絵巻物に見る日本庶民生活誌。中央公論社，中公新書605：83-85.
武藤鉄城（1969）秋田マタギ聞書。慶友社，常民文化叢書，Pp.222.
太田雄治（1979）消えゆく山人の記録—マタギ（全）。翠楊社，郷土の研究2，Pp.313.
下閉伊郡川井村役場（1962）川井村郷土誌（下）。下閉伊郡川井村。Pp.933.
菅江真澄（1984）菅江真澄遊覧記。内田武志・宮本常一訳，全5巻，平凡社，東洋文庫119.
竹下完（1964）野生ニホンザルの分布及びポピュレーション（上）。日本野猿愛護連盟。野猿19：6-13.
竹下完（1964）野生ニホンザルの分布及びポピュレーション（下）。日本野猿愛護連盟。野猿20・21：12-21.
滝沢村（1974）第六章 動物。滝沢村，滝沢村誌：4-43.
天笠敏文・伊藤仁子（1978）大正時代のニホンザルの分布。(財)日本野生生物研究センター。にほんざるNo4：96-106.
塚本学（1987）生類をめぐる政治。平凡社，平凡社選書80.
上原重男・小金沢正昭（1976）ニホンザルの分布の歴史の変遷。科学Vol.46（12）：737-744.
上野益三（1986）日本博物学史。平凡社，Pp.680.

表1. ニホンザル古生息情報 (奈良時代～明治時代)

| 年代順 | 生息年代 | 生息西暦 | 記載地名 (県郡市町村山) | 論文タイトル | 出典文献 | 記述西暦 |
|-----|------|------|---------------------------|----------|-----------------------|------|
| 古墳 | 土師6C | 501 | 北海道礼文郡礼文町 香深村香深井 A遺跡 | 香深井遺跡上・下 | 林-ツ文化の研究2・3 | 1976 |
| 奈良 | 和銅6 | 713 | 茨城県久慈郡会山 | | 常陸国風土記 | 1270 |
| 奈良 | 和銅6 | 713 | 茨城県行方郡麻生地方 | | 常陸国風土記 | 1270 |
| 奈良 | 和銅6 | 713 | 島根県飯石郡 | | 出雲国風土記 | 1270 |
| 奈良 | 和銅6 | 713 | 島根県仁多郡 | | 出雲国風土記 | 1270 |
| 奈良 | 和銅6 | 713 | 島根県神門郡 | | 出雲国風土記 | 1270 |
| 奈良 | 和銅6 | 713 | 島根県大原郡 | | 出雲国風土記 | 1270 |
| 奈良 | 和銅6 | 713 | 島根県意宇郡 | | 出雲国風土記 | 1270 |
| 奈良 | 和銅6 | 713 | 島根県出雲郡 | | 出雲国風土記 | 1270 |
| 奈良 | 和銅6 | 713 | 島根県桶縫郡 | | 出雲国風土記 | 1270 |
| 奈良 | 和銅6 | 713 | 島根県秋鹿郡 | | 出雲国風土記 | 1270 |
| 奈良 | 和銅6 | 713 | 島根県島根郡 | | 出雲国風土記 | 1270 |
| 鎌倉 | 鎌倉 | | 神奈川県鎌倉市御成町12-18 千葉地東遺跡 | | 神奈川県埋蔵文化財センター調査報告書10 | 1986 |
| 江戸 | 江戸期 | | 愛知県三河国八名郡(南設楽郡)能登瀬村 | | 三河国名所図会 | 1933 |
| 江戸 | 寛永13 | 1636 | 広島県佐伯郡宮島弥山山頂付近 | | 絶滅した宮島のニホンザル | |
| 江戸 | 享保元文 | 1716 | 愛知県丹羽郡 | | 丹羽郡産物帳 | 1716 |
| 江戸 | 享保元文 | 1716 | 愛知県丹羽郡犬山 | | 犬山産物帳 | 1716 |
| 江戸 | 享保元文 | 1716 | 愛知県(尾張国)春日井郡 | | 春日井郡産物帳 | 1716 |
| 江戸 | 享保元 | 1716 | 広島県佐伯郡宮島弥山山頂付近 | としなみ草 | としなみ草 | |
| 江戸 | 享保10 | 1725 | 広島県佐伯郡宮島 | 芸藩通志 | 芸藩通志 | |
| 江戸 | 享保20 | 1735 | 岩手県零石代官所内 | | 日本林政史盛岡藩 | |
| 江戸 | 安永 | 1772 | 愛知県春日井郡猿投山 | | 張州雜誌 | 1780 |
| 江戸 | 安永 | 1772 | 愛知県春日井郡赤津山 | | 張州雜誌 | 1780 |
| 江戸 | 天明3 | 1783 | 長野県東筑摩郡四賀 刈谷峠 (あだ坂) | | 菅江真澄遊覧記 | 1783 |
| 江戸 | 天明4 | 1784 | 秋田県雄勝郡羽後町馬音内の庄 | | 菅江真澄遊覧記 | 1784 |
| 江戸 | 天明8 | 1788 | 秋田県山本郡二ツ井町七座山 | | 東遊雜記 | 1788 |
| 江戸 | 天明8 | 1788 | 山形県東置賜郡(米沢市)綱木 | | 東遊雜記 | 1788 |
| 江戸 | 天明8 | 1788 | 福島県岩瀬郡長沼～福良の山中 | | 東遊雜記 | 1788 |
| 江戸 | 天明8 | 1788 | 静岡県磐田郡竜山村戸倉 | | 江漢西遊日記 (日本庶民生活史料2) | 1778 |
| 江戸 | 寛政5 | 1793 | 青森県下北郡佐井村福浦の北 | | 菅江真澄遊覧記 | 1793 |
| 江戸 | 寛政5 | 1793 | 青森県下北郡騎野沢村滝山 | | 菅江真澄遊覧記 | 1793 |
| 江戸 | 寛政8 | 1796 | 青森県中津軽郡西目屋村川原平暗門の滝 | | 菅江真澄遊覧記 | 1796 |
| 江戸 | 寛政12 | 1800 | 東京都(江戸) 奥多摩郡白丸村 | | 川村半三家文書 | 1800 |
| 江戸 | 享和2 | 1802 | 秋田県山本郡二ツ井町小繋 高岩神社 | | 菅江真澄遊覧記 | 1802 |
| 江戸 | 文化2 | 1805 | 秋田県北秋田郡鷹巣町七日市羽立明利又烏帽子岳 | | | 1805 |
| 江戸 | 文化4 | 1807 | 秋田県鹿角郡十和田湖付近鉛山 | | 菅江真澄遊覧記 | 1807 |
| 江戸 | 文化7 | 1810 | 埼玉県秩父郡高山村 | | 新編武蔵國風土記 (大日本地誌大系) | 1828 |
| 江戸 | 文化7 | 1810 | 埼玉県秩父郡古大滝村 | | 新編武蔵國風土記 | 1828 |
| 江戸 | 文化7 | 1810 | 埼玉県秩父郡新大滝村 | | 新編武蔵國風土記 | 1828 |
| 江戸 | 文化7 | 1810 | 埼玉県秩父郡浦山村 | | 新編武蔵國風土記 | 1828 |
| 江戸 | 文化7 | 1810 | 埼玉県秩父郡伊豆沢村 | | 新編武蔵國風土記 | 1828 |
| 江戸 | 文化7 | 1810 | 埼玉県秩父郡三峰山 | | 新編武蔵國風土記 | 1828 |
| 江戸 | 文化7 | 1810 | 東京都多摩郡白丸村 | | 新編武蔵國風土記 | 1828 |
| 江戸 | 文化7 | 1810 | 東京都多摩郡由井(領)原宿高尾山 | | 新編武蔵國風土記 | 1828 |
| 江戸 | 文政11 | 1828 | 新潟県中魚沼郡津南町大赤沢 | | 秋山記行 | 1828 |
| 江戸 | 文政11 | 1828 | 新潟県中魚沼郡津南町逆巻 | | 秋山記行 | 1828 |
| 江戸 | 文政11 | 1828 | 長野県下水内郡小赤沢 | | 秋山記行 | 1828 |
| 江戸 | 文政11 | 1828 | 長野県下水内郡和山 | | 秋山記行 | 1828 |
| 江戸 | 文政11 | 1828 | 長野県下水内郡湯本 | | 秋山記行 | 1828 |
| 江戸 | 天保3 | 1832 | 広島県佐伯郡宮島 | 敵島絵馬鑑 | 敵島絵図鑑 | |
| 江戸 | 天保6 | 1835 | 広島県佐伯郡宮島 | 敵島図絵 | 敵島図絵 | 1835 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県豊浦郡地吉村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県豊浦郡殿居村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県豊浦郡殿敷村 (現、豊田町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県豊浦郡神田下村 (現 豊北町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県大津郡井上村 (現 油谷町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |

ニホンザルの分布変遷について

| 年代順 | 生息年代 | 生息西暦 | 記載地名(県郡市町村山) | 論文タイトル | 出典文献 | 記述西暦 |
|-----|------|------|-------------------|---------|---------|------|
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県大津郡三隅村(現 三隅町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県長門市通浦 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県長門市青海村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県長門市大日比浦村(青海島) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県長門市瀬戸崎浦 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県長門市白濁浦(現 宇先崎) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県長門市俵山村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県長門市洪木村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県長門市真木村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県美祢郡長田村(現 美東町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県美祢郡青景村(現 秋芳町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県阿武郡小川村(現 田万川町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県阿武郡惣郷村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県阿武郡宇生賀村(現 阿武町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県阿武郡生雲村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県阿武郡地福村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県阿武郡徳佐村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県阿武郡蔵目喜村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡串鱈河内村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡上村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡藤木村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡島地山畑村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡柚木村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡野谷村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡船路村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡堀村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡引谷村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡三谷村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡八坂村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡深谷村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡小古祖村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡伊賀地村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県佐波郡岸見村(現 徳地町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県吉敷郡上中郷(現 小郡町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県山口市仁保庄上郷 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県山口市七房村(現 宇宮野上) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県山口市上宇野令 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県新南陽市夏切村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県新南陽市峠村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県新南陽市馬神米光村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県新南陽市高瀬村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県徳山市須々万本郷村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県徳山市長徳村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県都濃郡巢山村(現 鹿野町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県熊毛郡曾根村(現 平野町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県柳井市伊保庄 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県玖珂郡宇佐村 | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保12 | 1841 | 山口県玖珂郡大原村(現 錦町) | 防長風土注進案 | (林勝治紹介) | 1988 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 宮崎県諸県郡吉田 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 宮崎県諸県郡加久藤 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 宮崎県諸県郡飯野 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 宮崎県諸県郡小林 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 宮崎県諸県郡綾 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 宮崎県諸県郡穆佐 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 宮崎県諸県郡高原 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 宮崎県諸県郡高城 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 宮崎県諸県郡山之口 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県曾於郡曾於村 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県曾於郡財部 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県諸県郡松山 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県諸県郡志布志 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県姶良郡帖佐 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県桑原郡踊 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県桑原郡栗野 | | 三国名勝図会 | 1843 |

| 年代順 | 生息年代 | 生息西暦 | 記載地名 (県都市町村山) | 論文タイトル | 出典文献 | 記述西暦 |
|-----|-------|------|----------------------------|---------------------|-----------------------|------|
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県桑原郡吉松 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県大隅郡牛根 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県大隅郡垂水 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県肝属郡新城 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県大隅郡小根占 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県大隅郡大根占 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県肝属郡鹿屋 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県肝属郡高隈 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県大隅郡田代 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県大隅郡佐多 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県伊佐郡大口 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県伊佐郡鶴田 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県出水郡阿久根 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県出水郡野田 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県薩摩郡隈之城 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県薩摩郡樋脇 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県薩摩郡入来 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県薩摩郡東郷 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県日置郡串木野 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県日置郡市来 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県川辺郡坊宿 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 天保14 | 1843 | 鹿児島県敷浪郡(熊毛郡)屋久島 | | 三国名勝図会 | 1843 |
| 江戸 | 未 | 1867 | 岩手県西磐井郡須川嶽 (栗駒山) | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 江戸? | 古来 | | 青森県三戸郡田子町夏坂 | | 青森県の動物たち | 1985 |
| 江戸? | 近? | | 東京都千代田区東神田 1丁目12番地 江戸遺跡 | | 江戸都立一橋高校地点 発掘調査報告書 | 1985 |
| 江戸? | | | 東京都(江戸)多摩郡日原村 | | 武蔵名勝図会 | |
| 江戸? | 古来 | | 佐賀県藤津郡多良村多良嶽 | 大正12年西日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | | | 群馬県佐波郡 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | 明治> | | 新潟県東蒲原郡 備考欄 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | | | 石川県鳳至郡 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | | | 長野県南佐久郡畑八村八ヶ岳 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | | | 静岡県田方郡天城御旗場 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | 明治初 | 1868 | 青森県下北郡川内町湯野川 | | 青森県の動物たち | 1985 |
| 明治 | 明治一大正 | 1868 | 秋田県仙北郡玉川の湯淵 | 消えゆく山人の 記録マタギ(全) | 郷土の研究2 | 1979 |
| 明治 | 明治一大正 | 1868 | 秋田県仙北郡仙岩峠~国見峠 | 消えゆく山人の 記録マタギ(全) | 郷土の研究2 | 1979 |
| 明治 | 明治一大正 | 1868 | 秋田県仙北郡五番森 | 消えゆく山人の 記録マタギ(全) | 郷土の研究2 | 1979 |
| 明治 | 明治一大正 | 1868 | 秋田県仙北郡モッコ岳 | 消えゆく山人の 記録マタギ(全) | 郷土の研究2 | 1979 |
| 明治 | 明治一大正 | 1868 | 秋田県仙北郡田沢湖朝日岳 | 消えゆく山人の 記録マタギ(全) | 郷土の研究2 | 1979 |
| 明治 | 明治一大正 | 1868 | 秋田県仙北郡田沢湖町 大影小影国有林 | 消えゆく山人の 記録マタギ(全) | 郷土の研究2 | 1979 |
| 明治 | 明治一大正 | 1868 | 秋田県仙北郡田沢湖町神代 新真崎野開拓集落裏山 | 消えゆく山人の 記録マタギ(全) | 郷土の研究2 | 1979 |
| 明治 | 明治一大正 | 1868 | 秋田県仙北郡田沢湖町 玉川上流堀内沢 | 消えゆく山人の 記録マタギ(全) | 郷土の研究2 | 1979 |
| 明治 | | 1868 | 徳島県名東郡上八万村 佐野河内村 | 大正12年西日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | | 1868 | 高知県安芸郡津呂村岩谷山 | 大正12年西日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | 明治2 | 1869 | 岩手県上閉伊郡遠野通 | | 南部風土記 | 1869 |
| 明治 | 明治2 | 1869 | 岩手県上閉伊郡大槌通 | | 南部風土記 | 1869 |
| 明治 | 明治2 | 1869 | 岩手県上閉伊郡宮古通 | | 南部風土記 | 1869 |
| 明治 | 明治2 | 1869 | 岩手県上閉伊郡野田通 | | 南部風土記 | 1869 |
| 明治 | 明治中 | 1880 | 青森県下北郡郡内山林全般 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | 明治中 | 1880 | 青森県下北郡田名部町恐山街道 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | 明治13 | 1880 | 愛知県丹羽郡栗栖村 栗栖山&カンカケ | | 尾張名所図会 | 1880 |
| 明治 | 明治20 | 1887 | 青森県下北郡風間浦村蛇浦 | | 青森県の動物たち | 1985 |
| 明治 | 明治20 | 1887 | 青森県下北郡佐井村川目 | | 青森県の動物たち | 1985 |
| 明治 | 明治20 | 1887 | 広島県佐伯郡宮島 | 絶滅した宮島の ニホンザル | モンキーNO139/140 | |
| 明治 | 明治初 | 1890 | 岩手県九戸郡各所 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |

ニホンザルの分布変遷について

| 年代順 | 生息年代 | 生息西暦 | 記載地名 (県都市町村山) | 論文タイトル | 出典文献 | 記述西暦 |
|-----|-------|------|---|----------------------|--------------------------|------|
| 明治 | 明治26 | 1893 | 福井県足羽郡 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | 明治30 | 1897 | 青森県上北郡八甲田・十和田湖 (黄瀬川～焼山～雲井の滝間の山地) | | 青森県の動物たち | 1985 |
| 明治 | 明治35 | 1902 | 京都府愛宕郡雲ヶ畑村 | 大正12年西日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | 明治36 | 1903 | 山形県西置賜郡西根, 豊川, 豊原, 平野, 西根, 津川, 小国本, 南小国 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | 明治末 | 1907 | 青森県下北郡脇野沢村蛸田 | | 青森県の動物たち | 1985 |
| 明治 | 明治末 | 1907 | 青森県下北郡脇野沢村二の渡沢 | | 青森県の動物たち | 1985 |
| 明治 | 明治末 | 1907 | 青森県下北郡脇野沢村口広沢 | | 青森県の動物たち | 1985 |
| 明治 | 明治末 | 1907 | 青森県上北郡十和田湖 中山半島 | | 浅瀬石川郷土志 | 1976 |
| 明治 | 明治末 | 1907 | 静岡県富士郡富士山森林地帯 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | 明治末 | 1907 | 静岡県富士郡上井出村の西方 甲駿国境山脈 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | 明治末 | 1907 | 和歌山県伊都郡 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | 明治41 | 1908 | 青森県下北郡脇野沢村武士泊海岸 | | 脇野沢村文化財保護審議会 委員調査報告書3 | 1992 |
| 明治 | 明治後 | 1910 | 青森県下北郡川内町 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |
| 明治 | 明治44 | 1911 | 青森県下北郡脇野沢村面木～青石海岸 | | 脇野沢村文化財保護審議会 委員調査報告書3 | 1992 |
| 明治 | 明治末 | 1911 | 秋田県仙北郡田沢湖外輪山の院内岳 | 消えゆく山人の 記録マタギ (全) | 郷土の研究 2 | 1979 |
| 明治 | 明治一大正 | 1912 | 千葉県安房郡湊村内浦山林 | 大正12年東日本編 | 長谷部言人資料 | 1923 |